



第21号

平成18年3月31日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

青少年健全育成委員会について

貝塚中学校区
青少年育成委員会会長 関塚 昭男

昭和41年に千葉県青少年育成条例が制定されて以来、社会情勢の変遷に伴いその都度改正が行われ現在に至っています。次代を担う青少年を健全に育成することが、いつの時代にも重要であり、青少年が心身ともに調和のとれた発達をし、良識をもった人間性豊かな市民として育っていくことを願っています。そのためには、家族や学校をとりまく地域社会で、青少年のための環境やモラル等の施策を推進することが大切です。しかし現実には社会環境が急速に進展し、インターネット、出会い系サイト、携帯メール等青少年を取り巻く環境の悪化も見られます。更に地域住民の連帯意識の不足や、秩序や責任を軽視する風潮、核家族化による個人中心の生活様式等、他人事に對しても無関心を示す傾向も目立ちます。このような社会状況下での育成

千葉県青少年健全育成功労者表彰



今野 芳子様 福原美代子様
山崎 時江様
関塚 昭男会長 千脇 和夫様

去る6月25日千葉市青少年健全育成推進大会に於いて千葉市長より、長年に亘り貝塚中学校区青少年育成委員として活動して下さいた4名の方が表彰されました。おめでとうございました。

委員会としては、六部会を構成し様々な活動や催物を実施しています。特に児童生徒の通学路等の安全確保や安心して生活出来る、明るい地域の発展のため委員が一人となつて努力しております。地域住民の皆様にも一層のご支援をお願い申し上げます。



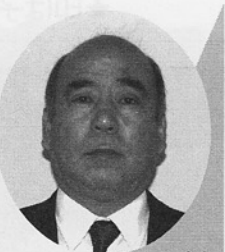
児童の
安全確保を

桜木小学校長
塚原 寛

早いもので、昨年四月に桜木小に着任して一年が過ぎようとしています。昨年暮には広島県や栃木県で、下校途中の小学生の痛ましい事件が立て続けにあり、どの学校もあらためて児童の安全確保についての総点検をしたと思います。

桜木小学校区でもこの一年間に児童の安全確認を呼びかける文章を十回ほど出しており、とても他人事とは思えません。今学校では多くのセーフティーウォッチャーの方々に、登下校時を中心に児童の安全確保の活動をしていただきとても感謝しております。また、育成委員会のパトロールに何回か参加をしました。が、多数の参加者、その後の熱心な情報交換から、地域全体で子供たちを守っていかうとする熱い思いに頼もしさを感じました。

現在学校でも週に何回か、全職員が児童の下校時にあわせてチェックポイントで児童の安全確保に努めています。今後とも子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、より一層のご協力をお願いいたします。



着任して

貝塚中学校長
石橋 政春

着任以来あつという間に十ヶ月が過ぎてしまいました。入学式での来賓の多さにびっくり。地域の方々の学校に対する期待をひしひしと感じました。また、市内唯一の請願校。時間がたつにつれ、育成委員会やPTA・協力会など地域の皆さんがこれ程まで協力的な学校はないと自負するようになりました。

衆知のとおり、ここ数年で学校の安全神話は完全に崩壊しました。マスコミによれば、事件は秩序の乱れている所、人と人との交流が少ない所に目をつけると報道していました。ゴミが散乱している街、落書きが放置されているような所、人がいても挨拶も交わさないコミュニケーションが希薄な地域、そうしたところに事件や犯罪が発生し易いそうです。そこで、私は二つのことを提案したいと思います。一つは、地域の中で「ありがとう」と言える良さ探し、そして情報の共有化です。これからもご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

その取り組みについて みんなで子どもたちを

なる痛ましい事件がたくさん起こっていま
な事件がいくつか報告されています。そこ
取り組みについて皆様に紹介いたします。



★印は子ども110番の家



PTAによる夏祭りのパトロール

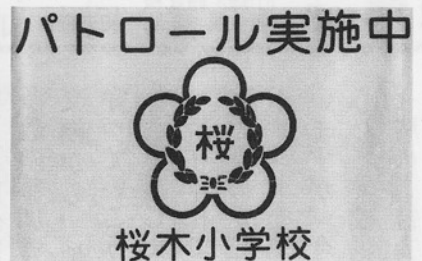
環境非行対策部会

日野 敬子

地域一斉点検パトロールを始め、夏は各町内自治会盆踊りの巡視、冬休みは都賀駅周辺のパトロールをしています。「子供は、親から、大人から生き方を学びます。」内山部長以下メンバー全員、愛の一声運動はもとより、安心して住める街を目指し活動しています。

桜木小の取り組み

- ① 自転車パトロール隊（保護者）
- ② セイフティウォッチャー（保護者、地域の方々）
- ③ 学年別パトロール（年9回）
- ④ 交通安全指導（危険箇所での旗振り）
- ⑤ 集団方面別下校（年3回）
- ⑥ 学校職員による下校指導（年16回）
- ⑦ 各自治会による下校パトロール
- ⑧ 横断幕、立て看板の設置（標語は児童から募集）



青少年育成委員会

地域ぐるみ一斉パトロール

7月9日と12月10日、毎年恒例の地区一斉パトロールを実施しました。45名前後の参加者が6つのコースに別れてパトロールし、その後報告会を持ちました。人目の少ない箇所、道路の狭い通学路等の確認をし、区役所・警察等への要望事項としてまとめました。



各自治会

各地域をパトロール（夜回り、休日のパトロールなど）
不法投棄によるごみの撤去



登下校時にパトロール

福祉・交通安全部会

部長 小出 岩男

登校下校中は、二列で、広くて明るい、安全な道を通りましょう。家に帰ってから自転車で出かけるときは、十字路やT字路は特に安全を確認して通り、怪我の無い楽しい毎日を送りましょう。



子ども110番の家
子ども達の登下校中の
かけ込み寺

北貝塚小の取り組み

- △自転車パトロール隊 (保護者)
- △地域パトロール隊
(保護者、地域の方々)
- △セイフティウォッチャー
- △通用門の施錠
- △学年ごとに下校時間を統一
- △交通安全指導 (危険箇所での旗ふり)
- △CAP講習会 (参加型学習会)

パトロール中

北貝塚小学校PTA



CAPとは (Child Assault Prevention) の略で子どもがさまざまな暴力やいじめから自分を守るための人権教育プログラムです。安心して自信を持って自由に生きる権利を劇を交えながら学習するものです。子ども達にこのプログラムを受けさせる前に保護者や大人が受けることで学習効果があがります。大人の方は、誰でも参加できますので来年度の講習会にはぜひ参加してください。学校便りを通じてご案内します。

**四
団
体
会
議**

11月20日と12月24日、2回に渡り、育成委員会 (各部代表を含む) ・学校・PTA・協力会の正副代表が集まり、地域や学校等でできる具体的な環境浄化等の取り組みについて話し合いが持たれました。30名前後の参加者で具体的な問題点や改善策等について活発な議論が行われ、それぞれの活動についての再確認ができました。

**文部科学省の
取り組み**

登下校時の安全確保
等のための
緊急対策6項目

- ☆ 3月までに全小学校区で全通学路の緊急安全点検
- ☆ 全ての学校における防犯教室の緊急開催
- ☆ 全ての地域における情報共有体制の緊急立ち上げ
- ☆ 学校安全ボランティア (スクールガード) の充実
- ☆ 路線バスを活用した通学時の安全確保
- ☆ 国民に対する協力の呼びかけ

**地域における現状と
見守ろう! 地域のみ**

昨今、全国各地で子どもたちが犠牲に
す。私たち貝塚中学校区の中でも、小
で、今回この地域における現状と、その

**貝塚中の取り組み**

- △セイフティウォッチャー
- △保護者による年間を通じたパトロール (23回)
- △薬物乱用防止教室
- △防犯教室
- △夏祭りパトロール

若葉フロック研修会

貝塚中学校区
青少年育成委員会副会長 小塚 興作

昨年九月十七日千城台CCで開催され、全体会の後、広報部会へ工藤愛子部長と共に出席、各中学校区の発表を伺いました。広報誌は一回の発行の所が多かったのですが、中には二回以上発行するところもあり、その頁数、形式にしてもかぎられた予算内で、様々な工夫されていました。貝塚中学校区育成委員会広報部は、数少ない部員数にも関わらず、多くの努力をされていることを、改めて知る思いでした。これからも学校と地域が良い関係を保ち、青少年健全育成に協力していこうと思えました。

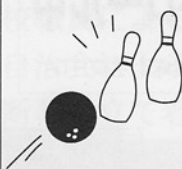
レクリエーション専門部

部長 平田 鉄夫



今年の研修旅行は、十二月二十三日に和田町の「くすの木」で施設見学や房総田舎暮らし作り体験と、紅葉の「養老溪谷」散策を行いました。

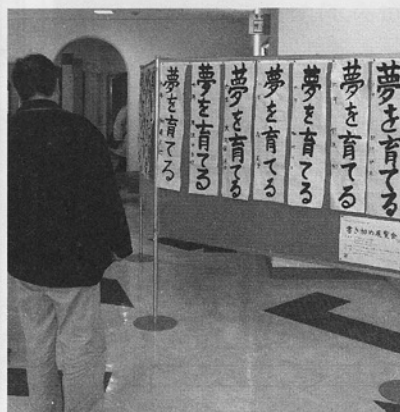
また、一月二十一日(土)には、レクリエーションとしてボーリング大会が行われました。



健全育成部

部長 田代 春代

新年を迎え、恒例となりました健全育成部の事業である書き初め展も今年で七回目を迎えることが出来ました。この事業は毛筆に親しんでもらうことを目的としています。今年も桜木公民館及び都賀コミュニティセンターのご協力を頂き、無事に開催することが出来ました。



書き初め展

貝塚中協力会の活動報告

私たち協力会は、平成十年三月に発足し、現在は約三十名で活動しています。設立目的は「学校や子供等に関する情報交換の少ない父親同士が主となり、ボランティア活動をを通じて親睦を深め、子供達の健全育成の一助とする」ことにあります。毎月第四土曜日の午前中を定例活動日と



して、校舎補修等の力仕事を得意としています。平成十六・十七年度は、貝塚中ふれあい広場の芝生植えや藤棚の剪定、南側斜面の土手の草刈を行いました。又、年一回、子供達と触れ合うイベントとして、夏休みにサマーキャンプを催しました。

貝塚中協力会会長 有山 守



青少年相談員サマーキャンプ
7月24日・25日 於小見川少年自然の家

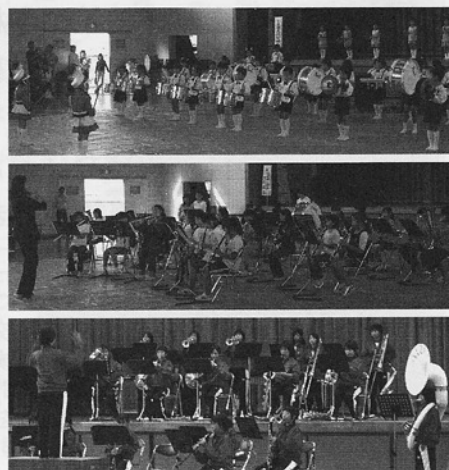
地域ぐるみ音楽祭によせて

～続けることに意義がある
続けることで飛躍しよう～

貝塚中学校区
青少年育成委員会副会長

千脇 和夫

地域ぐるみ音楽祭も可愛い幼稚園児のマーチングや、高齢者によるコーラス、郷土芸能のお囃子と、内容も非常に充実してきました。時間的に若干余裕が無い感もありますが、これは今後の課題としましょう。



編集後記

子どもをとりまく痛ましい事件が毎日のようにとりただされております。21号では『子どもを守る』地域での具体的なとりくみを集めました。日頃の皆様の活動ご協力に感謝いたします。更なるお力添えをお願い致します。